

平成25年行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	看護職員資質向上推進事業費		担当部局庁	医政局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	①平成2年度～ ②平成6年度～ ③平成15年度～ ④平成12年度～ ⑤平成2年度～ ⑥平成18年度～		担当課室	看護課		課長:岩澤和子	
会計区分	一般会計		政策・施策名	I-1-1 日常生活圏の中で良質かつ適切な医療が効率的に提供できる体制を整備すること			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	平成22年3月24日医政発0324第21号「看護職員確保対策事業等の実施について」			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	看護職員を対象に、医療の高度化、専門分化等に対応できる看護職員を育成、確保するため講習会等を実施する。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	別添のとおり						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		当初予算	488	353	250億円の内数	227億円の内数	171億円の内数
		補正予算					
		繰越し等					
	計	488	353	250億円の内数	227億円の内数	171億円の内数	
	執行額	342	361	398			
執行率(%)	70.1%	102.3%	-				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	別添のとおり	成果実績	-	-	-	-	-
		達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	別添のとおり	活動実績	-	-	-	-	-
		(当初見込み)			(-)	(-)	(-)
単位当たりコスト	36,442(円/人)	算出根拠	単位当たりコスト=X/Y X…補助金の執行額(24年度) Y…受講者数(24年度) 398,201,468円/10,927人				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
	補助金	227億円の内数	171億円の内数	-			
	計	227億円の内数	171億円の内数				

事業所管部局による点検				
	項目	評価	評価に関する説明	
国費投入の 必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。	○	看護ケアの質の向上が求められる昨今、現在の医療提供体制の確保に必要であり、国民のニーズが高い。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	看護職員の資質向上のための研修は「看護師等の人材確保の促進に関する法律」において国が財政上の措置を行うこととなっている。	
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。	○	看護職員の資質向上のための研修は「看護師等の人材確保の促進に関する法律」において国が財政上の措置を行うこととなっているため優先度が高い。	
事業の 効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	-	-	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○	補助事業の基準額は必要最低限であり、国が補助すべき以上の額については受益者負担となっている。	
	単位当たりコストの水準は妥当か。	○	補助事業の実施に必要な最低限の経費しか計上していないため単位あたりコストの削減は困難であり水準は妥当。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	○	補助事業の実施に当たっては都道府県が自前でを行うか、委託を行う場合でも規定に則り委託を行っているため適正に実施している。	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	講師謝金等の研修を行うに必要な経費のみを計上している。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-	
事業の 有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	それぞれの事業が目的を定めて行っているため、他の手段がない。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	-	-	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	特定の看護分野において、熟練した看護技術と知識を用いた、水準の高い看護を実践できる認定看護師の育成を促進した結果、認定看護師数は毎年増加している。 ・修了者は全国の病院等において、熟練した看護技術と知識を用いた、水準の高い看護を実践している。	
重複 排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。 (役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-	-	
	事業番号	類似事業名		所管府省・部局名
	-	-		-
点検 結果	<p>①看護教養成講習会事業については、平成22年の検討会報告書により看護教員の資質の向上についてその必要性について普及が図られたとともに、平成22年度に講習会ガイドラインを提示したことで体制を整えたことにより、研修受講者が増加した。</p> <p>②実習指導者講習会事業及び⑤看護教員継続研修事業については、平成22年及び平成23年の検討会報告書で実習指導、教員の資質向上の重要性が報告されたこと等により、普及がされ、その結果、研修受講者が増加した。</p> <p>看護補助者活用活用推進事業については、平成25年度より開始となった事業であり、事業の推進がチーム医療の推進につながるよう努めているところである。事業の執行状況から研修のニーズなども踏まえて、事業の推進を通して、看護職員の資質の向上に努める。</p> <p>本事業は、看護職員の資質向上を目的とし質の高い看護師を積極的に養成する必要があるため実施している。今後も執行状況等を踏まえて、事業の見直しや予算要求を行っていきたい。</p>			
	外部有識者の所見			
点検対象外				
行政事業レビュー推進チームの所見				
現状 通り	看護職員資質向上推進事業費については、医療の高度化、専門分化等に対応できる看護職員を育成、確保するため講習会等を実施するための事業であり、本事業の必要性や執行の観点からの評価も概ね妥当であることから、引き続き効率的な執行に努めるべき。			
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況				
現状 通り	-			

備考

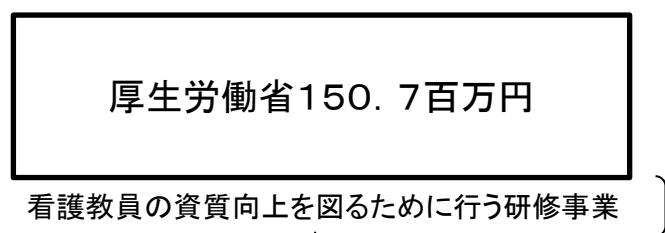
○事業仕分け第1弾 平成21年11月12日
 事業番号:2-9「医師確保、救急・周産期対策の補助金等(一部モデル事業)」
 評価結果:予算要求の縮減(半額)
 とりまとめコメント:「要求どおり」は、0名である。その背景としては、昨日議論した診療報酬の見直しと組み合わせた形で本補助金を有効なものにするというのが、本WGの思いだと考える。したがって、このWGの判断としては、「予算半額」を結論としたい。今後の診療報酬見直しの経緯を見ながら、真に必要なならば平成22年度補正予算での対応もありえると考え。平成22年度当初予算についても、真に必要な事項に絞ることとし、支給する方法、内容、支給先についても厚生労働省の政務三役としっかり相談してもらいたい。

○事業仕分け第3弾 平成22年11月16日
 事業番号A-9「医師確保、救急・周産期対策の補助金等」
 評価結果:見直しを行う
 とりまとめコメント:診療報酬改定で対応可能な事業の廃止、医師不足対策への実効性が定かではない事業の廃止、不用額の確実な反映をさらにしっかりとやっていただきたいということが結論。医師確保、救急・周産期対策そのものについては大変重要であることは全員共通しているが、今の補助金の仕組みそのものが本当に効果的なやり方なのか、議論の中では包括的に支払うとか、必要なものについては補助率を高めるとかいろいろ議論があったので、減らす方向での対応をしっかりとやっていただくとともに、より使い勝手がよく、より効果的なやり方を今日の議論を踏まえて検討していただくということを結果に付随して申し上げ、全体として結論としたい。

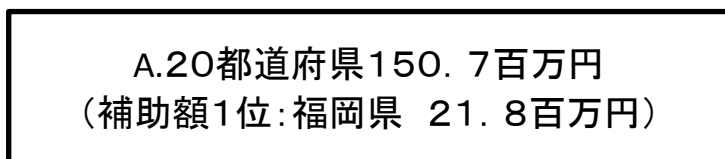
関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年	68	平成23年	0058	平成24年	024-18
-------	----	-------	------	-------	--------

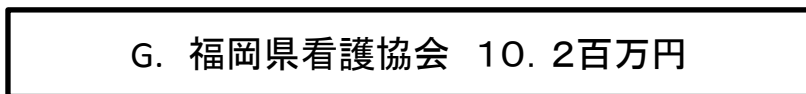
①看護教員養成講習会事業



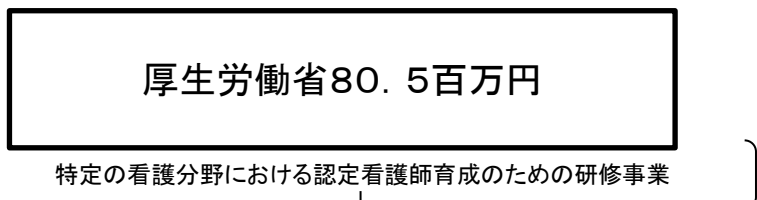
【補助】



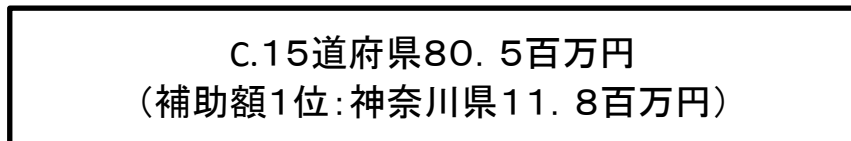
【委託(随意契約)】



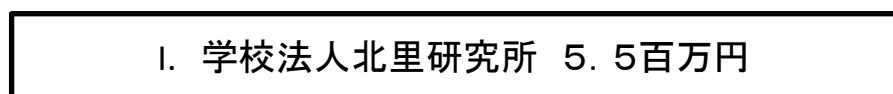
③看護教員専門分野研修事業



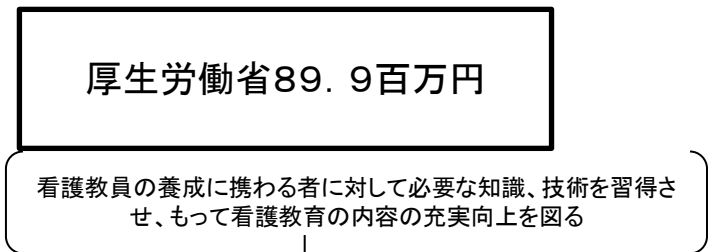
【補助】



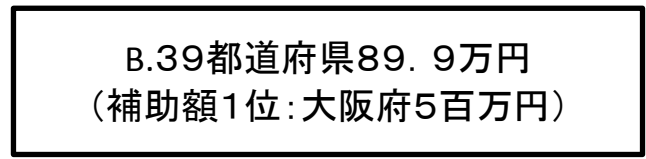
【委託(随意契約)】



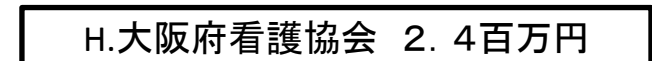
②実習指導者講習会



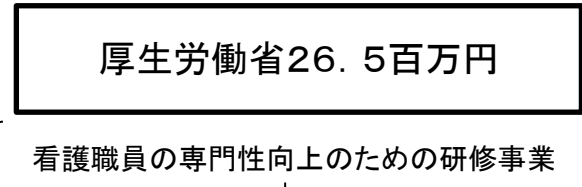
【補助】



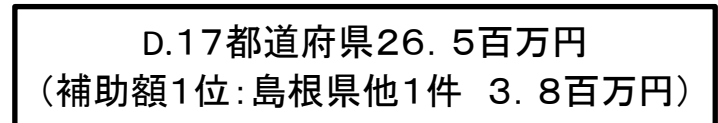
【委託(随意契約)】



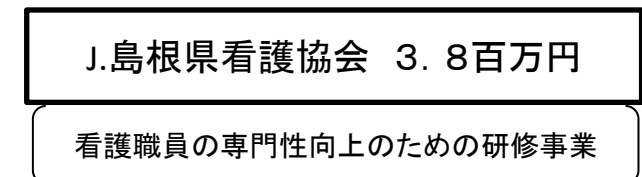
④中堅看護職員実務研修



【補助】



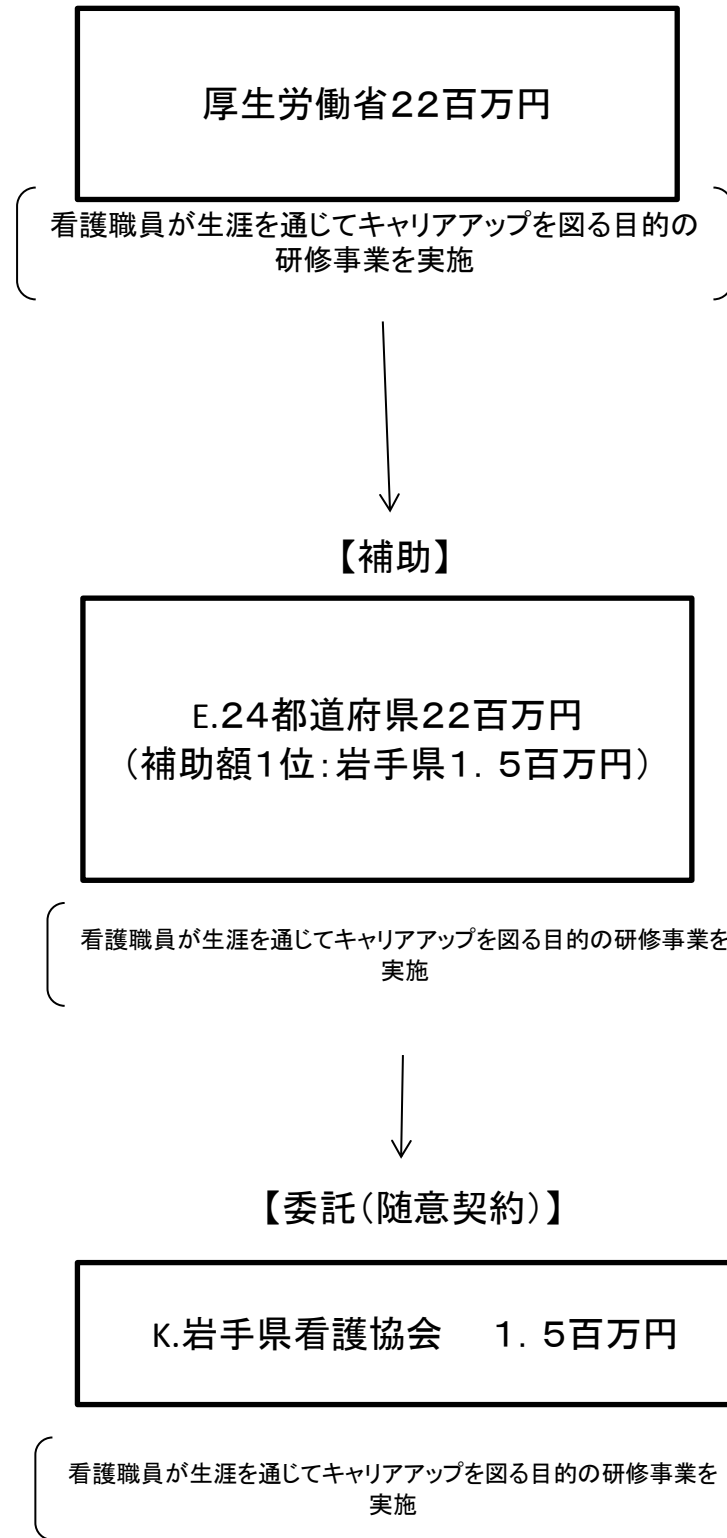
【委託(随意契約)】



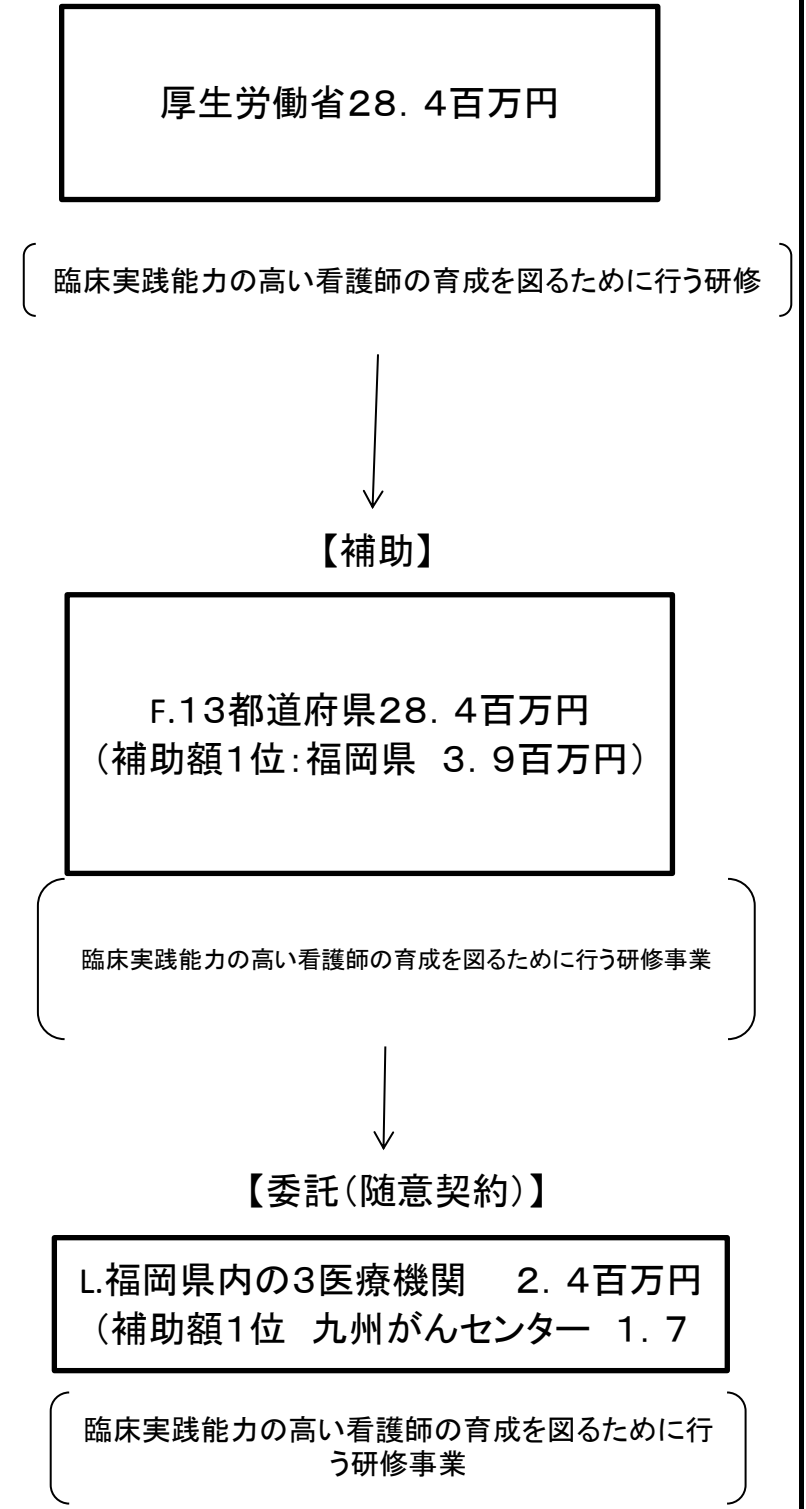
資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて)

て補足する)
(単位:百万円)

⑤看護教員継続研修事業



⑥専門分野(がん・糖尿病)における質の高い看護師育成事業



A.福岡県			G.福岡県看護協会		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
賃金	臨時職員賃金等	1.3	賃金	臨時職員賃金	0.8
報償費	諸謝金等	5.6	報償費	諸謝金等	5.9
旅費	講師旅費	1.1	旅費	講師旅費等	0.9
耐用費	消耗品	0.1	使用料及び貸借料	会場借り上げ料等	2.6
使用料及び貸借料	会場借り上げ料等	3.5			
委託費	福岡県看護協会への委託	10.2			
計		21.8	計		10.2
B.大阪府			H.大阪府看護協会		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
委託費	大阪府看護協会への委託	2.4	報償費	講師他謝金	2.4
その他	役務費、使用料及び貸借料等	2.6			

費目・用途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と用途の双方で実情が分かるように記載)								
	計		5	計		2.4		
	C.神奈川県			I.学校法人北里研究所				
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)		
	委託費	学校法人北里研究所への委託	5.5	報償費	講師謝金	1.6		
	報償費	講師等謝金	6.3	旅費	講師旅費	0.3		
				その他	消耗品等	3.6		
	計		11.8	計		5.5		
	D.島根県			J.島根県看護協会				
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)		
	委託費	島根県看護協会への委託	3.8	報償費	講師他謝金	2.0		
				旅費	講師他旅費	0.8		
				耐用費	消耗品等	0.3		
				その他	会場借り上げ料等	0.7		
	計		3.8	計		3.8		
	E.岩手県			K.岩手県看護協会				
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)		
	委託費	岩手県看護協会への委託	1.5	その他	報償費等	1.5		
計		1.5	計		1.5			
F.福岡県			L.九州がんセンター					
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)			
報償費	講師謝金等	1.3	報償費	講師等謝金	0.8			
旅費	講師旅費等	0.1	耐用費	消耗品等	0.2			
耐用費	消耗品	0.1	その他	通信運搬費等	0.7			
委託料	九州がんセンター等への委託	2.4						
計		3.9	計		1.7			

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	福岡県	看護教員の資質向上を図るために行う研修事業	21.8		
2	愛知県	看護教員の資質向上を図るために行う研修事業	9.4		
3	埼玉県	看護教員の資質向上を図るために行う研修事業	9.4		
4	東京都	看護教員の資質向上を図るために行う研修事業	8.9		
5	滋賀県	看護教員の資質向上を図るために行う研修事業	8.4		
6	神奈川県	看護教員の資質向上を図るために行う研修事業	8.4		
7	福島県	看護教員の資質向上を図るために行う研修事業	8.3		
8	広島県	看護教員の資質向上を図るために行う研修事業	8		
9	大阪府	看護教員の資質向上を図るために行う研修事業	7.7		
10	山口県	看護教員の資質向上を図るために行う研修事業	7.5		

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	大阪府	看護教員の養成に携わる者に対して必要な知識、技術を習得させ、もって看護教育の内容の充実向上を図る	5		
2	岩手県	看護教員の養成に携わる者に対して必要な知識、技術を習得させ、もって看護教育の内容の充実向上を図る	3.1		
3	奈良県	看護教員の養成に携わる者に対して必要な知識、技術を習得させ、もって看護教育の内容の充実向上を図る	2.5		
4	福岡県	看護教員の養成に携わる者に対して必要な知識、技術を習得させ、もって看護教育の内容の充実向上を図る	2.5		
5	大分県	看護教員の養成に携わる者に対して必要な知識、技術を習得させ、もって看護教育の内容の充実向上を図る	2.5		
6	宮崎県	看護教員の養成に携わる者に対して必要な知識、技術を習得させ、もって看護教育の内容の充実向上を図る	2.5		
7	徳島県	看護教員の養成に携わる者に対して必要な知識、技術を習得させ、もって看護教育の内容の充実向上を図る	2.5		
8	鳥取県	看護教員の養成に携わる者に対して必要な知識、技術を習得させ、もって看護教育の内容の充実向上を図る	2.5		
9	京都府	看護教員の養成に携わる者に対して必要な知識、技術を習得させ、もって看護教育の内容の充実向上を図る	2.5		
10	茨城県	看護教員の養成に携わる者に対して必要な知識、技術を習得させ、もって看護教育の内容の充実向上を図る	2.5		

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	神奈川県	特定の看護分野における認定看護師育成のための研修事業	11.8		
2	福岡県	特定の看護分野における認定看護師育成のための研修事業	10.7		
3	兵庫県	特定の看護分野における認定看護師育成のための研修事業	9.4		
4	愛知県	特定の看護分野における認定看護師育成のための研修事業	8.4		
5	北海道	特定の看護分野における認定看護師育成のための研修事業	5.4		
6	埼玉県	特定の看護分野における認定看護師育成のための研修事業	5.3		
7	静岡県	特定の看護分野における認定看護師育成のための研修事業	5.2		
8	京都府	特定の看護分野における認定看護師育成のための研修事業	4.9		
9	岡山県	特定の看護分野における認定看護師育成のための研修事業	4.8		
10	長野県	特定の看護分野における認定看護師育成のための研修事業	3.3		

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	島根県	看護職員の専門性向上のための研修事業	3.8		
2	石川県	看護職員の専門性向上のための研修事業	3.8		
3	高知県	看護職員の専門性向上のための研修事業	3.4		
4	埼玉県	看護職員の専門性向上のための研修事業	3.2		
5	北海道	看護職員の専門性向上のための研修事業	3		
6	岩手県	看護職員の専門性向上のための研修事業	1.7		
7	富山県	看護職員の専門性向上のための研修事業	1.2		
8	山梨県	看護職員の専門性向上のための研修事業	1.1		
9	千葉県	看護職員の専門性向上のための研修事業	0.8		
10	福井県	看護職員の専門性向上のための研修事業	0.7		

E.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	岩手県	看護職員が生涯を通じてキャリアアップを図る目的の研修事業を実施	1.5		
2	福島県	看護職員が生涯を通じてキャリアアップを図る目的の研修事業を実施	1.2		
3	石川県	看護職員が生涯を通じてキャリアアップを図る目的の研修事業を実施	1.2		
4	滋賀県	看護職員が生涯を通じてキャリアアップを図る目的の研修事業を実施	1.2		
5	京都府	看護職員が生涯を通じてキャリアアップを図る目的の研修事業を実施	1.2		
6	兵庫県	看護職員が生涯を通じてキャリアアップを図る目的の研修事業を実施	1.2		
7	徳島県	看護職員が生涯を通じてキャリアアップを図る目的の研修事業を実施	1.2		
8	福岡県	看護職員が生涯を通じてキャリアアップを図る目的の研修事業を実施	1.2		
9	岡山県	看護職員が生涯を通じてキャリアアップを図る目的の研修事業を実施	1.1		
10	広島県	看護職員が生涯を通じてキャリアアップを図る目的の研修事業を実施	1.1		

F.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	福岡県	臨床実践能力の高い看護師の育成を図るために行う研修事業	3.9		
2	長崎県	臨床実践能力の高い看護師の育成を図るために行う研修事業	3		
3	群馬県	臨床実践能力の高い看護師の育成を図るために行う研修事業	2.6		
4	福井県	臨床実践能力の高い看護師の育成を図るために行う研修事業	2.2		
5	山形県	臨床実践能力の高い看護師の育成を図るために行う研修事業	2		
6	栃木県	臨床実践能力の高い看護師の育成を図るために行う研修事業	2		
7	三重県	臨床実践能力の高い看護師の育成を図るために行う研修事業	2		
8	滋賀県	臨床実践能力の高い看護師の育成を図るために行う研修事業	2		
9	北海道	臨床実践能力の高い看護師の育成を図るために行う研修事業	2		
10	富山県	臨床実践能力の高い看護師の育成を図るために行う研修事業	1.9		

G.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	福岡県看護協会	看護教員の資質向上を図るために行う研修事業	10.2	随意契約	

H.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	大阪府看護協会	看護教員の養成に携わる者に対して必要な知識、技術を習得させ、もって看護教育の内容の充実向上を図る	2.4	随意契約	

I.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	学校法人北里研究所	認定看護師育成のための研修事業を実施	5.5	随意契約	

J.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	島根県看護協会	看護職員の専門性向上のための研修事業	3.8	随意契約	

K.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	岩手県看護協会	看護職員が生涯を通じてキャリアアップを図る目的の研修事業を実施	1.5	随意契約	

L.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	九州がんセンター	臨床実践能力の高い看護師の育成を図るために行う研修事業	1.7	随意契約	
2	栄光病院	臨床実践能力の高い看護師の育成を図るために行う研修事業	0.4	随意契約	
3	中川病院	臨床実践能力の高い看護師の育成を図るために行う研修事業	0.4	随意契約	

事業概要 (5行程度以内。別添可)	都道府県が看護職員の資質向上を図るために行う研修事業とする。						
	補助先：都道府県 基準額：①看護教員養成講習会事業：(看護教員養成講習会)1カ所あたり6,719千円、受講者30人以上1人増す毎に224千円、(教務主任養成講習会)受講者1人につき606千円、(保健師・助産師教員養成講習会)受講者1人につき280千円、(他県受入加算)受入人数1人ごとに40千円 ②実習指導者講習会事業：2,493千円 ③看護職員専門分野研修：受講者1人あたり98千円、(認定看護師追加研修)受講者1人あたり110千円 ④中堅看護職員実務研修：(短期研修)1実施あたり604千円、(中期研修)1カ所あたり3,192千円 ⑤看護教員継続研修事業：1,219千円 ⑥専門分野(がん・糖尿病)における質の高い看護師育成事業：がん1,966千円、糖尿病1,966千円 ⑦看護補助者活用推進事業：1医療圏328千円						

①看護教員養成講習会事業

成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	成果実績	達成度					
看護師等養成所専任教員数	成果実績		人	5629	5752	5812	-
	達成度			-	-	-	
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	活動実績 (当初見込み)						
研修受講者数	活動実績		人	547	459	599	-
				(-)	(-)	(-)	(-)

②実習指導者講習会事業

成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	成果実績	達成度					
実習指導者数	成果実績			170,184	175,335	185,806	-
	達成度			-	-	-	
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	活動実績 (当初見込み)						
研修受講者数	活動実績		人	2,851	2,623	2,745	-
				(-)	(-)	(-)	(-)

③看護職員専門分野研修

成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	成果実績	達成度					
認定看護師認定者数(各年12月末日現在)	成果実績		人	7,364	8,993	10,878	-
	達成度			-	-	-	
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	活動実績 (当初見込み)						
研修受講者数	活動実績		人	510	999	858	-
				(-)	(-)	(-)	(-)

④中堅看護職員実務研修

成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	成果実績	達成度					
短期研修受講者・中期研修受講者の総数	成果実績		人	3,256	2,764	2,791	-
	達成度			-	-	-	
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	活動実績 (当初見込み)						
短期研修・中期研修を実施した都道府県数	活動実績		都道府県数	19	16	20	-
				(-)	(-)	(-)	(-)

⑤看護教員継続研修事業

成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	成果実績	達成度					
研修受講者数	成果実績			1,377	2,623	3,667	-
	達成度			-	-	-	
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	活動実績 (当初見込み)						
研修を実施した都道府県数	活動実績		都道府県	15	20	26	-
				(-)	(-)	(-)	(-)

⑥専門分野(がん・糖尿病)における質の高い看護師育成事業

成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	成果実績	達成度					
専門分野(がん)受講者・専門分野(糖尿病)受講者総数	成果実績		人	588	465	267	-
	達成度			0	-	-	
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	活動実績 (当初見込み)						
研修を実施した都道府県数	活動実績		都道府県数	25	26	14	-
				(-)	(-)	(-)	(-)

⑦看護補助者活用推進事業(平成25年度から開始)

成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	成果実績	達成度					
研修受講者数	成果実績		人				-
	達成度						
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	活動実績 (当初見込み)						
研修を実施した都道府県数	活動実績		都道府県数				-